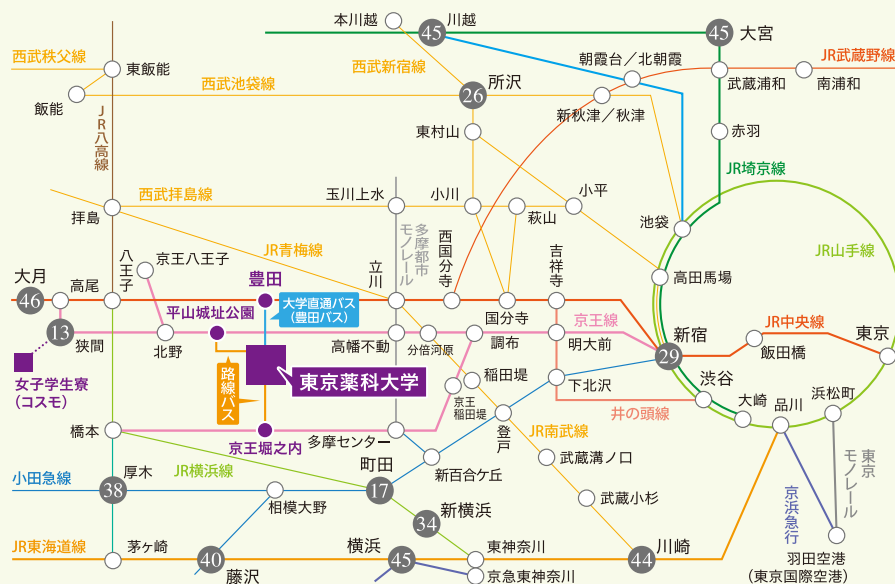


主な駅から大学までの路線図とおおよその所要時間

● 内の数字は出発駅から本学の最寄駅までのおおよその所要時間(分)



東京薬科大学 薬用植物園

MEDICINAL PLANT GARDEN,
TOKYO UNIVERSITY OF
PHARMACY AND LIFE SCIENCES



バス乗り場のご案内

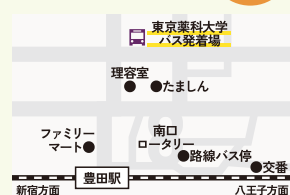
※バス時刻表は東京薬科大学ホームページに記載があります。



豊田駅

JR中央線「豊田駅」南口下車、
大学まで約8分

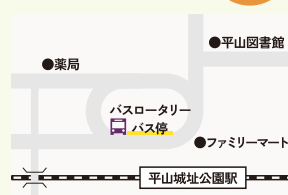
直通バス



平山城址公園駅

京王線「平山城址公園駅」下車、
大学まで約8分、または徒歩20分

路線バス
または徒歩



京王堀之内駅

京王相模原線「京王堀之内駅」
下車、大学まで約8分

路線バス



東京薬科大学

薬学部 / 生命科学部

TEL 042-676-5111 (代)

HP アドレス <https://www.toyaku.ac.jp/>

〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1





植物園のあらまし

人類が誕生した時から生活は植物とともにあり、衣食住のために多くの有用植物を活用し、使いやすく育ててきました。病気の治療のためにも様々な植物を用いるようになり、それらを栽培する場所として薬用植物園の原型が作られました。本来、大学附属の薬用植物園は薬学の教育や研究のために設置されるものですが、現在その役割は多岐にわたります。当園では、植物資源の保全のためおよそ2000の植物を園内で維持しています。また、一般の方々への公開やそれに伴う薬用植物の知識の普及啓発も重要な役割の一つと考えています。当園は東側に開けた谷とこれを囲む丘陵からなり、41,000㎡の園地を有しています。谷の部分にある見本園や展示温室には、温帯から亜熱帯に生育する代表的な薬用植物・有用植物が植栽展示されています。多摩丘陵の地形と自然を生かした自然観察路では、ヤマユリや絶滅危惧種のタモノカンアオイ等およそ400の自生植物を観察できます。一般の植物園に比べて薬用植物園にはきれいな花を咲かせる植物が多くありませんが、人類との関わりの深い植物をたくさん見ることができます。説明板の内容とともに植物観察をお楽しみいただければ幸いです。

見学
される方へ

園内では以下のルールに従ってください



写真撮影可



SNS 掲載可



食事禁止



採取禁止



園路外ふみこみ禁止



学内禁煙

開園時間

月曜日～土曜日 9:30～16:00

(ただし、11月～3月の間、温室は15:00まで)

日曜・祝日、大学の休暇期間、入学試験日は休園です。
また、天候や大学の諸行事等により休園することもあります。
休暇期間: 8月中旬、年末年始、創立記念日(11/6)

薬用植物園公開講座

本学では、年2回「薬用植物園公開講座と見学会」を開催しています。お申し込みいただければどなたでも参加できます。スライド等を使った講義の後、薬用植物園見学があります。



植物説明板の 見方

① *Sophora flavescens* Aiton

② クララ

③ Shubby sophora

④ マメ科 Leguminosae

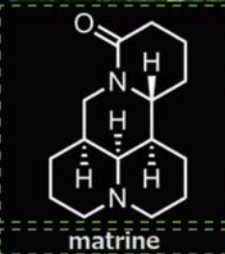
⑤ 【用部】根『苦参（クジン）』

⑥ 【効能】苦味健胃・解熱・利胆

⑦ 【成分】アルカロイド、フラボノイド

⑧ 【用途】苦参湯、三物黄芩湯

⑨ 本州から九州に自生する多年草。根を噛むと目がくらむほど苦いことから命名されたとされる。アルカロイドを含有し、服用には注意が必要。医薬品としてのみ使用が可能。



⑩ ⑪



① 学名（世界共通の植物名）

② 和名

③ 英名、中国語名
（簡体字・繁体字）など

④ 科名とラテン語表記

⑤ 薬用部位『生薬名』

⑥ 効能

⑦ 含有成分の総称

⑧ 使用法、漢方処方名

⑨ 植物の概要

⑩ 有毒植物

⑪ 日本薬局方（薬の公定書）に
記載がある植物

⑫ 重要な含有成分名

⑬ ⑫の化学構造式



見本園

区画ごとに薬用植物・有用植物を展示しているエリアです。比較を容易にするため、近接する区画に類似あるいは近縁な植物を配置するように心がけています。



展示温室

熱帯・亜熱帯の薬用植物を展示しているエリアです。亜熱帯の果樹やスパイスに用いられる植物もたくさん観察できます。



ハーブ園

欧米の薬用植物や有用植物を展示しているエリアです。高温多湿の日本で栽培するためにロックガーデン調に仕立てた部分もあります。

園内のご紹介



樹木園

2023年に新しくオープンしたエリアです。薬木を全体に配置し、その間にはショウガ科などの大型の草本を展示しています。



ジンジャーガーデン

主にショウガ科の植物を展示しているエリアです。東南アジアでは定番のガーデンですが、国内ではほとんど見かけません。冬季は苗を温室で養生するため暖かい季節限定です。



自然観察路

多摩丘陵の地形を生かして整備した観察路です。タマノカンアオイなどの自生種や植栽した植物を観察できます。

ミニ植物図鑑

ヤマユリ

Lilium auratum Lindl.



自然観察路

近畿以東に分布するユリ科の多年草、大きな花に強い香りを持つ。八王子市の花に指定されている。開花期：7月中旬～8月上旬

マダブ

Morus alba L.



樹木園

養蚕に用いる中国原産の落葉樹。葉、枝、果実、根皮が生薬にも利用される。「桑都」八王子に欠かせない植物。

インテルメディアマオウ

Ephedra intermedia Schrenk & C.A.Mey.



管理棟脇

中国西部～コーカサスにかけて分布するマオウ科の低木。地上茎は生薬「麻黄（マオウ）」として葛根湯や小青竜湯などに配剤される。

モミ

Abies firma Siebold et Zucc.



自然観察路

急傾斜地に生えることが多い日本原産のマツ科の常緑針葉樹。自然観察路の尾根沿いに多く見られる。園内で一番大きな樹木でもある。

カタクリ

Erythronium japonicum Decne.



自然観察路

春の訪れとともに顔を出して花を咲かせ木々が葉を茂らせる頃には休眠に入る春の妖精。地下部はデンプンを多く含む片栗粉の語源になった。

カカオ

Theobroma cacao L.



展示温室

熱帯アメリカ原産のアオイギリ科（アオイ科）の常緑樹。幹で小さな花が咲き、大きな果実が実る。種子を発酵して加工することでチョコレートやココアが得られる。



展示温室

樹木園

湿生園

ハーブ園

圃場

ジンジャーガーデン

見本園

薬用植物園

イラスト マップ

自然観察路

Illustration Guide map